

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会 岐阜市ホストタウン交流推進事業 実施報告書



令和4（2022）年3月
岐阜市



目次

1	ホストタウンの概要	1	5	外部団体との連携	28
	(1) 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会	1		(1) 在外公館との連携	28
	(2) ホストタウン	1		(2) 大学との連携	28
2	登録の経緯と交流計画	2		(3) 岐阜スロバキア友好協会との連携	29
	(1) スロバキア共和国	2		(4) 企業との連携	29
	(2) カナダ	3	6	今後の交流方針	31
	(3) コートジボワール共和国	4		(1) スロバキア共和国	31
3	推進体制	5		(2) カナダ	31
	(1) 庁内における体制	5		(3) コートジボワール共和国	31
	(2) 岐阜市ホストタウン交流コーディネーター	5	7	寄稿 ~ホストタウン相手国との交流に寄せて~	32
	(3) 官民協働による事業推進	6		(1) スロバキア共和国との交流 (岐阜スロバキア友好協会 会長 富田 栄一)	32
	(4) ホストタウン相手国応援校	6		(2) カナダとの交流 (岐阜市立茜部小学校 校長 田中 文晴)	32
	(5) 広報啓発物	10		(3) コートジボワール共和国との交流 (NPO 法人ぎふ・コートジボワール 理事長 杉山 利夫)	33
4	各年度の実施事業	12			
	(1) 平成 28 (2016) 年度	12			
	(2) 平成 29 (2017) 年度	13			
	(3) 平成 30 (2018) 年度	14			
	(4) 平成 31/令和元 (2019) 年度	17			
	(5) 令和 2 (2020) 年度	23			
	(6) 令和 3 (2021) 年度	25			



1 ホストタウンの概要

1 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会（以下、東京大会）は、2013年9月の第125次国際オリンピック委員会（IOC）総会で決定され、2020年夏に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大の影響により、約1年の延期を経て開催された。

日本政府は、東京大会の機運を日本全国に波及させるとともに、地域の活性化等につなげるため、大会に向けた取組の一つとして「ホストシティ・タウン構想」（のちに「ホストタウン」と改称）を推進し、内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局を中心に実施した。

東京大会の概要

大会（正式）名称	開催期間	競技	参加国・地域※	参加者
第32回オリンピック競技大会 （2020／東京）	2021/7/23(金)～8/8(日) ※延期前：2020/7/24～8/9	33	205 ならびに 難民選手団	11,092
東京 2020 パラリンピック競技大会	2021/8/24(火)～9/5(日) ※延期前：2020/8/25～9/6	22	162 ならびに 難民選手団	4,403

※ロシアオリンピック・パラリンピック委員会を含む

2 ホストタウン

ホストタウンは、東京大会の開催により多くの選手や観客が来訪することを契機に、全国の地方公共団体と大会参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、地域の活性化等を推進しようとする取組である。

岐阜市は、スロバキア共和国、カナダ（岐阜県と共同）及びコートジボワール共和国（関市と共同）のホストタウンとして、これら相手国の選手や関係者と市民との相互交流を通じ、スポーツの振興、教育文化の向上、共生社会の実現など様々な分野において地域の活性化等につなげていく取組を推進する。

ホストタウンの登録状況（第32次追加登録／2021年7月13日現在）

◆ 総登録件数：461 ◆ 登録自治体数：533 ◆ 相手国・地域数：185

共生社会ホストタウン

共生社会ホストタウンは、パラリンピアンとの交流をきっかけにした共生社会の実現に向けて、「心のバリアフリーまたはユニバーサルデザインのまちづくりの実施」及び「相手国・地域のパラリンピアンと市民との交流」を推進する取組である。

岐阜市は、スロバキア共和国とカナダ（岐阜県と共同）の共生社会ホストタウンとして、両国のパラリンピアンの受入を契機とし、市民とパラアスリートとの交流やパラリンピックに向けた機運醸成を目的とした啓発事業などを通じ、共生社会の実現に向けた取組を推進する。

2 登録の経緯と交流計画

1 スロバキア共和国 (Slovak Republic : SVK)

岐阜市は、在スロバキア日本国大使館を通じたブラチスラバ市との姉妹都市交流の提案をきっかけに、2016年12月9日にスロバキア共和国を相手国としたホストタウンに登録され、「信長公のおもてなし」が息づくホストタウンとして、スポーツや文化など幅広い分野で交流を実施した。

対象競技は、オリンピック競技の卓球、空手、パラリンピック競技の卓球、ボッチャの4競技。また、2019年12月17日には同国のパラリンピアンとの交流をきっかけにした共生社会の実現に向けた取組を推進する「共生社会ホストタウン」に登録された。

ホストタウン登録日：2016年12月9日（第3次登録）
（共生社会ホストタウン登録日：2019年12月17日）



スロバキア共和国とのホストタウン交流計画

スロバキア共和国の概要

面積：49,037km²（日本の約7分の1）

人口：545万人（2019）※在留邦人：250人（2020）

首都：ブラチスラバ

時差：-8時間 ※夏時間 -7時間

気候：大陸性気候

公用語：スロバキア語

宗教：ローマ・カトリック62%、プロテスタント（ルター派）6%等

政体：共和制

産業：自動車産業、電機産業

GDP：1,054億米ドル（2019）※1人当たりのGDP：19,344米ドル、経済成長率：2.4%

備考：1993年チェコスロバキアより分離独立



東京2020大会の実績

国	大会	出場者数等	メダル獲得数(金/銀/銅)			主なメダル獲得種目
SVK	オリ	41人(13競技)	1	2	1	射撃、ゴルフ、カヌー
	パラ	27人(8競技)	5	2	4	自転車、射撃、ボッチャほか

前回大会（リオ2016）の実績

国	大会	出場者数等	メダル獲得数(金/銀/銅)			主なメダル獲得種目
SVK	オリ	51人(12競技)	2	2	0	カヌー、陸上
	パラ	32人(9競技)	5	3	3	自転車、射撃、ボッチャほか

2 カナダ (Canada : CAN) ※岐阜県と共同登録

岐阜市は、カナダのサンダーベイ市と姉妹都市提携を結んでおり、岐阜県とカナダ陸上競技連盟との「2020年東京オリンピック・パラリンピック事前合宿時の岐阜メモリアルセンター利用に関する一般合意書」の締結をきっかけに、2018年12月28日に岐阜県と共同でカナダを相手国としたホストタウンに登録された。

対象競技は陸上競技(オリ/パラ)で、岐阜県が事前合宿の受入を、岐阜市が選手等と市民との交流を担う。2019年12月17日には、同国のパラリンピアンとの交流をきっかけにした共生社会の実現に向けた取組を推進する「共生社会ホストタウン」に登録された。

ホストタウン登録日：2018年12月28日(第11次登録)
(共生社会ホストタウン登録日：2019年12月17日)



カナダの概要

- 面積：998.5万km² (日本の約27倍)
- 人口：約3,789万人(2020) ※在留邦人：約7万人
- 首都：オタワ
- 時差：-14時間 ※夏時間 -13時間
- 気候：亜寒帯湿潤気候、ツンドラ気候
- 公用語：英語、フランス語
- 宗教：キリスト教67% (うちローマ・カトリック39%) 等
- 政体：立憲君主制
- 産業：金融・保険・不動産業、製造業、建設業、鉱業、農林業
- GDP：1兆9,392億米ドル(2019) ※1人当たりのGNI：46,460米ドル、経済成長率：1.7%
- 備考：1867年連邦化(1982年までにイギリスより完全独立)



東京2020大会の実績

国	大会	出場者数等	メダル獲得数(金/銀/銅)			主なメダル獲得種目
CAN	オリ	381人(30競技)	7	6	11	陸上競技、競泳ほか
	パラ	128人(18競技)	5	10	6	陸上競技、競泳、自転車ほか

前回大会(リオ2016)の実績

国	大会	出場者数等	メダル獲得数(金/銀/銅)			主なメダル獲得種目
CAN	オリ	314人(27競技)	4	3	15	陸上競技、競泳ほか
	パラ	162人(19競技)	8	10	11	陸上競技、競泳、自転車ほか

3 コートジボワール共和国 (Republic of Cote d'Ivoire : CIV) ※関市と共同登録

岐阜市は、市内に拠点を置く NPO 法人ぎふ・コートジボワールが、使われなくなった運動靴をコートジボワール共和国に送る活動を長年行っていることをきっかけに、2018年12月28日に関市と共同でコートジボワール共和国を相手国としたホストタウンに登録され、運動靴が結ぶ絆交流ホストタウンとして、スポーツや文化など幅広い分野で交流を実施した。

対象競技は、オリンピック競技のテコンドー、サッカー、フェンシング、柔道 (以上、岐阜市)のほか、陸上競技、アーチェリー、競泳 (以上、関市) の7競技。

ホストタウン登録日：2018年12月28日 (第11次登録)



コートジボワール共和国とのホストタウン交流計画

コートジボワール共和国の概要

- 面積：322,436km² (日本の約0.9倍)
- 人口：2,572万人 (2019) ※在留邦人：140人 (2021)
- 首都：ヤムスクロ
- 時差：-9時間
- 気候：熱帯性気候、サバナ気候
- 公用語：フランス語、各民族語
- 宗教：キリスト教39%、イスラム教34%、伝統宗教4%等
- 政体：共和制
- 産業：農業 (コーヒー、ココア等)、石油・天然ガス
- GDP：585億米ドル (2019) ※1人当たりのGNI：2,290米ドル、経済成長率：6.9% (2019)
- 備考：1960年フランスより独立



東京2020大会の実績

国	大会	出場者数等	メダル獲得数(金/銀/銅)			主なメダル獲得種目
CIV	オリ	31人(6競技)	0	0	1	テコンドー
	パラ	3人(2競技)	0	0	0	-

前回大会 (リオ2016) の実績

国	大会	出場者数等	メダル獲得数(金/銀/銅)			主なメダル獲得種目
CIV	オリ	12人(6競技)	1	0	1	テコンドー
	パラ	5人(2競技)	0	1	0	陸上競技

3 推進体制

1 庁内における体制

① 岐阜市ホストタウン推進本部

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、本市においてホストタウンの取組を推進し、交流計画の実施を総合的に推進することを目的として、2017年4月に、副市長、教育長及び関係部局長（本部員）で構成する推進本部を設置した。

本部会議の開催

平成 29 年度 第 1 回：2017 年 5 月 8 日 第 2 回：2018 年 2 月 15 日
平成 30 年度 第 1 回：2018 年 5 月 22 日 第 2 回：2019 年 2 月 6 日

② 岐阜市ホストタウン推進本部幹事会

推進本部の下、具体的なホストタウンの取組について検討するため、2017年4月に、国際課長をはじめ関係課長で構成する幹事会を設置した。

幹事会会議の開催

平成 29 年度 第 1 回：2017 年 6 月 6 日 第 2 回：2017 年 8 月 28 日
第 3 回：2018 年 1 月 22 日
平成 30 年度 第 1 回：2018 年 5 月 29 日 第 2 回：2018 年 8 月 22 日
第 3 回：2019 年 1 月 22 日

③ 国際課ホストタウン推進室

ホストタウン推進事業のうち、相手国への本市代表団の派遣等は国際課が、相手国からの視察団の受入等は市民体育課（※現 市民スポーツ課）が、それぞれ主に担当してきたが、国際課内に平成 31 年 4 月 1 日付で「ホストタウン推進室」を新設し、事業を一体的に進めることとした（令和 3 年 10 月 31 日まで）。

2 岐阜市ホストタウン交流コーディネーター

相手国との円滑な連絡調整のため、スロバキア及びコートジボワールについて、日本語及び現地公用語が堪能かつ現地事情に精通した人物をコーディネーターに委嘱した。なおカナダは、岐阜県が連絡調整を行ったため、コーディネーターは委嘱していない。

コーディネーター一覧

国	氏名	肩書	任期※年度更新
SVK	シュテファン・パホ Jr	日本語教師	2018/4/1～2021/9/30
CIV	カク・ブル・ジョージ	在日コートジボワール人協会副会長	2019/2/1～2021/9/30

3 官民協働による事業推進

岐阜市ホストタウン交流推進会議

ホストタウン交流を官民協働で推進し地域の活性化を図るため、2019年2月に、競技団体をはじめとする関係機関、団体、行政等で構成する推進会議を設置し、参加団体の協力を得て交流等を実施した。

推進会議の開催

平成30年度 第1回：2019年3月26日

参加団体（26団体）

岐阜市スポーツ協会	岐阜商工会議所
一般社団法人岐阜県障害者スポーツ協会	柳津町商工会
岐阜市卓球協会	公益社団法人岐阜青年会議所
岐阜市空手道連盟	岐阜市商店街振興組合連合会
岐阜県障がい者卓球協会	岐阜柳ヶ瀬商店街振興組合連合会
岐阜ボッチャ協会	ぎふ農業協同組合
岐阜市陸上競技協会	岐阜市芸術文化協会
岐阜県テコンドー協会	公益財団法人岐阜観光コンベンション協会
株式会社十六銀行卓球部	岐阜市小中学校校長会
一般社団法人岐阜市医師会	岐阜市自治会連絡協議会
一般社団法人岐阜市歯科医師会	一般財団法人岐阜市身体障害者福祉協会
一般社団法人岐阜市薬剤師会	公益財団法人岐阜市国際交流協会
岐阜県岐阜中警察署	岐阜市

4 ホストタウン相手国応援校

ホストタウン交流を通じ、児童生徒が多様な文化に触れる機会を創出するため、相手国の事前合宿受入競技ごとに、選手等との交流等を行う応援校を市内小中学校及び特別支援学校から募集し、2019年3月に11校を選定した。

ホストタウン相手国応援校

国	大会	競技	学校名
スロバキア	オリ	卓球	青山中学校
		空手	岐阜中央中学校
	パラ	卓球	且格小学校
		ボッチャ	早田小学校、鶉小学校
カナダ	オリ	陸上	茜部小学校、三輪中学校
	パラ	陸上	長良西小学校、島中学校、岐阜特別支援学校
コートジボワール	オリ	テコンドーほか	長良中学校

応援校の活動

(1) 相手国選手等との交流

相手国の選手及び関係者が視察や事前合宿等で岐阜市を訪問した際、学校訪問の受入や練習の見学、大会会場での応援など、直接の交流を実施した。

交流の様子



2018.7 学校訪問 (岐阜中央中)



2019.3 学校訪問 (早田小)



2019.3 学校訪問 (鶉小)



2019.5 学校訪問 (茜部小)



2019.5 練習見学 (三輪中)



2019.6 練習見学 (青山中)



2019.7 学校訪問 (岐阜特支)



2019.7 学校訪問 (島中)



2019.7 大会応援 (島中等)



2019.9 学校訪問 (岐阜中央中)



2019.10 学校訪問 (鶉小)



2019.10 学校訪問 (目格小)



2019.10 練習見学 (早田小)



2021.7 学校訪問 (長良中)



2021.7 練習見学 (長良西小等)

(2) 応援メッセージフラッグの制作 (2019年5月)

担当競技を応援するメッセージを描いたフラッグを制作し、校内での掲示や、第63回「ぎふ信長まつり」のフラッグパレードでの披露、啓発イベント「ホストタウンウィーク2020」における「ホストタウン相手国応援フラッグ展」での展示、事前合宿の練習会場での掲示等、交流に広く活用した。

制作したフラッグ (大きさ: 縦1,000mm×横2,000mm)



青山中学校



岐阜中央中学校



且格小学校



鶉小学校



早田小学校



茜部小学校



三輪中学校



長良西小学校



岐阜特別支援学校



島中学校 (陸上部)



島中学校 (美術部)



長良中学校

制作の様子



青山中学校



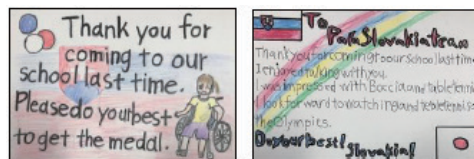
且格小学校



長良中学校

(3) 相手国応援レターの送付 (2020年1月)

東京2020 オフィシャルパートナーの日本郵便株式会社の実施事業「ホストタウン相手国・地域へお手紙を送ろう！」に、岐阜中央中学校、且格小学校及び鶉小学校が参加し、応援メッセージを書いたはがきを、駐日大使館を通じて相手国の選手らに送った。



(4) 応援メッセージ動画の制作 (2020年12月)

東京大会の延期を受け、コロナ禍における交流の一環として、相手国への応援メッセージ動画を制作。スロバキア及びコートジボワール向け動画は、駐日大使館や競技団体等に送付したほか、市公式 YouTube チャンネルで公開した。カナダ向け動画は、岐阜県が実施するカナダとのホストタウン交流事業の一環で制作され、県の公式 SNS で公開された。

制作した動画 ※島中学校は日程の都合により未制作



青山中学校



岐阜中央中学校



且格小学校



鶉小学校



早田小学校



茜部小学校



三輪中学校



長良西小学校



岐阜特別支援学校



長良中学校

応援メッセージ動画の視聴



- ①スロバキア：<https://youtu.be/8wwQZ4hKxb8>
 - ②カナダ：<https://twitter.com/GifuCanada/>
 - ③コートジボワール：<https://youtu.be/52x631ITvtQ>
- ※①、③は市公式 YouTube チャンネル、②は県公式 Twitter

(5) カナダ代表チーム歓迎グッズの制作 (2021年6月)

本市で東京大会の事前合宿を行うカナダ五輪・パラ陸上競技代表チームに向け、カナダの応援校がおもてなし動画や応援ポスター等を制作し、宿泊施設に展示した。また、折り紙金メダルやのし袋を制作し、県を通じて選手らに贈呈した。



宿泊施設での掲示



折り紙金メダル



のし袋/おもてなし動画

(6) 応援メッセージボードの制作 (2021年7月)

新型コロナウイルス感染症の影響により事前合宿が取りやめとなったスロバキア及びコートジボワールに向けて、両国の応援校が、選手への応援メッセージ等を寄せたメッセージボードを制作し、駐日大使館を通じて贈呈した。

制作したメッセージボード



青山中学校



岐阜中央中学校



目格小学校



鶉小学校



早田小学校



長良中学校①



長良中学校②

5 広報啓発物

① 岐阜市ホストタウン事業通信

本市の実施事業をまとめた通信を作成し、推進会議参加団体、応援校及び応援校に進学する小学校に送付したほか、市庁舎やぎふメディアコスモスへの設置、啓発イベントでの配布、市公式 Web サイトへの掲載等を通じ、本市の取組を発信した。



事業通信の発行

No.	発行号	発行日
1	2019年夏号	2019/7/12
2	2019年秋号	2019/10/17
3	2020年冬号	2020/1/10
4	2020年初夏号	2020/5/29
5	2021年新春号	2021/1/25
6	2021年大会直前号	2021/7/15
7	2021年秋号	2021/10/13

② ホスタタウン紹介リーフレット

ホスタタウンの周知のため、本市のホスタタウン相手国を紹介するリーフレット（A4）を作成し、市庁舎等に設置したほか、啓発イベント等で配布した。



(表)

(裏)



③ 開幕デイクウントダウンボード

大会の機運醸成のため、東京大会までの日数を表示した看板を五輪・パラ各1台作成し、本庁舎、ぎふメディアコスモス、モスバーガー市内6店舗に巡回設置したほか、啓発イベント等で展示した。



W850×H1200 片面



マグネット



④ のぼり旗

相手国応援の機運醸成のため、国旗をデザインしたのぼり旗を作成し、イベント会場や事前合宿受入の際等に設置したほか、応援校に配布し、校内での展示や「ぎふ信長まつり」のパレードで活用した。

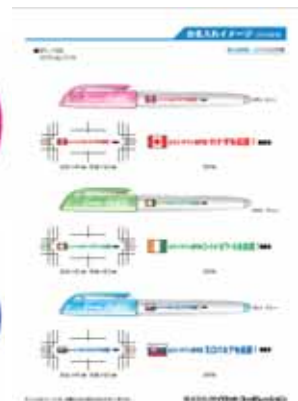


⑤ ノベルティ（うちわ、フリクション蛍光ペン）

応援メッセージ入りうちわと、相手国の国旗をイメージした色のフリクション蛍光ペンを作成し、啓発イベント等で配布したほか、来岐した選手や関係者に進呈した。



■フリクションペン



4 各年度の実施事業

1 平成 28 (2016) 年度

在スロバキア日本国大使館を通じた首都ブラチスラバ市との姉妹都市交流の提案をきっかけに、ホストタウン登録に向けた関係者との協議を開始。2016年12月9日、岐阜市が同国を相手国としたホストタウンに登録され、東京大会に向けたホストタウンの取組が本格的に始動した。

(1) ホストタウン登録申請

第3次登録申請	相手国	スロバキア共和国	登録日	2016年12月9日
---------	-----	----------	-----	------------

(2) 相手国関係者との協議

時期	内容
2016/10/18	駐日スロバキア大使との面会 市の担当者がミハル・コットマン駐日スロバキア大使と面会し、今後の本市との交流や事前合宿の候補地への検討について協議したほか、同国の競技団体との仲介を依頼した。
2017/3/8	スロバキアオリンピック委員会会長らとの懇談 市長らが、来日中のスロバキアオリンピック委員会会長らと東京都内で懇談し、事前合宿の受入れを含めた今後の交流について協議した。



相手国別の主な事業

スロバキア	カナダ	コートジボワール
2016/12月 ホストタウン登録	2018/12月 ホストタウン登録	2018/12月 ホストタウン登録
2017/3月 オリンピック委員会との懇談	2019/2月 ホストタウン交流フェア 2019	2019/2月 ホストタウン交流フェア 2019
7月 代表団の現地派遣	5月 陸上競技選手団の来訪	4月 オリンピック委員会の来訪
2018/1月 スロバキアフェスティバル	7月 パラ陸上競技選手団の来訪	8月 コートジボワール料理教室
3月 駐スロバキア大使の来訪	12月 共生社会ホストタウン登録	スポーツ大臣の来訪
5月 駐日大使による講演会	2020/8月 ホストタウン交流PJの開始	9月 担当者の現地派遣
7月 空手選手団の来訪	2021/7月 陸上競技代表チーム事前合宿	2021/7月 応援メッセージボードの制作
8月 パラリンピック委員会の来訪	8月 パラ陸上競技代表チーム事前合宿	駐日大使の学校訪問
10月 代表団の現地派遣	共通のイベント	
2019/3月 パラ卓球選手の来訪	2019年度	2020年度
スロバキアフェスティバル in Gifu	5月 応援メッセージフラッグの制作	4月 フレーム切手の制作
6月 卓球代表チーム事前合宿	7月 岐阜市ホストタウンデー2019	12月 応援メッセージ動画の制作
8月 空手選手団事前合宿	8月 岐阜市ホストタウンウィーク 2019	2021年度
9月 パラ選手団事前合宿	10月 ぎふ信長まつりフラッグパレード	4月 聖火リレー会場での出展
12月 共生社会ホストタウン登録	2月 岐阜市ホストタウンウィーク 2020	7月 ホストタウン交流写真展
2020/11月 松たか子ポジウムへの参加		11月 ホストタウン功労者感謝状贈呈式
2021/7月 応援メッセージボードの制作		

2 平成 29 (2017) 年度

初めてスロバキアに代表団を派遣しブラチスラバ市を訪問するとともに、競技団体の会長らと面会し、事前合宿の誘致について直接協議した。また、ホストタウンの啓発のため、スロバキアをテーマとした市民向けイベントを開催し、同国の食文化や伝統芸能の体験等を通じて相手国への関心向上を図った。

(1) 相手国関係者との協議

時期	内容	
2017/7/5 -7/8	スロバキアへの代表団派遣 市長を代表とする代表団が初めてスロバキアを訪問し、ブラチスラバ市副市長及び外務・欧州問題相と面会。また、オリンピック委員会、パラリンピック委員会、卓球連盟等の会長らと面会し、事前合宿の受入れ等について協議した。	
2017/8/23	駐日スロバキア大使との面会 市長が駐日スロバキア大使館を訪問し、マリアーン・トマーシク大使の就任をお祝いするとともに、ホストタウン推進に係る協力を要請した。	
2018/2/19	駐日コートジボワール大使との面会 市の担当者がジェローム・クロー・ウェア駐日コートジボワール大使と面会し、ホストタウン交流について意見交換を行ったほか、事前合宿を実施予定の競技や受入時の対応について要望の聞き取りを行った。	
2018/3/8	駐スロバキア日本国大使との面会 新美潤駐スロバキア日本国大使が、一時帰国に伴い岐阜市を訪問。柴橋市長と初めて面会し、ホストタウンの取組を通じたスロバキアとの交流について意見交換を行った。	

(2) 啓発事業

スロバキアフェスティバル

期間	2018/1/21 (展示：1/21-23)	場所	みんなの森 ぎふメディアコスモス (ドキドキテラス)
来場者	約 150 人		



スロバキアをテーマとした市民イベントを岐阜市で初めて開催。来場者がスロバキアの民族舞踊や食文化、伝統柄のマグネット作りなどを体験した。併せて、駐日スロバキア大使館提供の風景ポスターや伝統工芸品等を展示する「スロバキア展」を開催した。



民族舞踊体験



お菓子体験 (協力：松野アデラ氏)



スロバキア展

3 平成 30 (2018) 年度


スロバキアから選手及び関係者が初めて来岐し、競技施設の視察や市民との交流等を実施するとともに、同国と事前合宿に係る覚書を締結した。また 2018 年 12 月 28 日、他の自治体との共同申請で新たにカナダとコートジボワールを相手国としたホストタウンに登録され、両国とのホストタウン交流を開始した。

(1) ホストタウン登録申請

第 11 次登録申請 相手国 カナダ、コートジボワール共和国 登録日 2018 年 12 月 28 日

(2) 相手国関係者との協議


時期	内容	
2018/5/11 -5/12	駐日スロバキア大使の来岐 駐日スロバキア大使が初めて岐阜市を訪問。ホストタウン交流について市長と意見交換を行ったほか、鶺鴒開きに大使夫妻が出席し「ぎふ長良川鶺鴒」を観覧した。また、ホストタウン交流事業「駐日スロバキア大使による講演会」で、大使がスロバキアの歴史や文化について講演した。	
2018/8/30 -8/31	スロバキアパラリンピック委員会視察団の来訪 スロバキアパラリンピック委員会関係者 2 人が、初めて岐阜市を訪問。事前合宿の実施に向け、もえぎの里多目的体育館や岐阜県福祉友愛アリーナ等を視察したほか、鶺鴒観覧などを通じた交流を行った。	
2018/10/25 -10/27	スロバキアへの代表団派遣 市長を代表とする代表団が、卓球連盟、空手連盟及びパラリンピック委員会の会長らと面会し、ホストタウン交流と事前合宿に関する覚書を締結した。	  
<p>(写真：左から卓球連盟、空手連盟、パラリンピック委員会。卓球連盟は岐阜市及び十六銀行との三者で締結。)</p>		
2018/11/15	駐日スロバキア大使との面会 駐日スロバキア大使夫妻が、岐阜県訪問にあたり本市に来訪。副市長から大使に、ホストタウン交流の成果を報告するとともに今後の協力を依頼した。	
2019/2/20	駐日コートジボワール大使との面会 市長が駐日コートジボワール大使館を訪問し、大使とホストタウン交流について意見交換するとともに、岐阜市ホストタウン交流コーディネーターを委嘱したカク・ブル・ジョージ氏に、大使立ち会いのもと市長から辞令書を交付した。	

時期	内容	
2019/3/21 -3/22	<p>駐日コートジボワール大使の来岐</p> <p>駐日コートジボワール大使及び参事官が来岐し、市長と事前合宿の受入れ等について意見交換するとともに、岐阜市体育ルームを視察。併せて、関市の尾関市長を表敬訪問するとともに、中池かわせみスタジアムを視察した。</p>	

(3) 合宿等の受入・交流

時期	内容									
2018/7/12 -7/20	<p>スロバキア空手連盟選手らの来訪</p> <p>スロバキア空手連盟の選手らが初めて来岐し、岐阜市体育ルーム等で視察を兼ねた練習を行ったほか、岐阜中央中学校を訪問して生徒と交流。また、市民空手道大会に参加して形を披露するなど市民と交流した。</p> <table border="1"> <tr> <td>滞在期間</td> <td>9日間</td> </tr> <tr> <td>団体構成</td> <td>17人（選手11、コーチ3、関係者3）</td> </tr> <tr> <td>練習会場</td> <td>岐阜市体育ルーム ほか</td> </tr> <tr> <td>宿泊施設</td> <td>ホテルリソル岐阜</td> </tr> </table>	滞在期間	9日間	団体構成	17人（選手11、コーチ3、関係者3）	練習会場	岐阜市体育ルーム ほか	宿泊施設	ホテルリソル岐阜	 
滞在期間	9日間									
団体構成	17人（選手11、コーチ3、関係者3）									
練習会場	岐阜市体育ルーム ほか									
宿泊施設	ホテルリソル岐阜									
2019/3/1 -3/4	<p>スロバキアパラリンピック卓球選手らの来訪</p> <p>スロバキアからパラリンピック選手らが来岐し、「スロバキアフェスティバル in Gifu 市民交流事業」において市民と交流したほか、岐阜県福祉友愛アリーナ等の視察を実施。また、早田・鶉小学校を訪問し、ボッチャ体験やパラ卓球金メダリストの実技披露を通じ、児童と交流した。</p> <table border="1"> <tr> <td>滞在日数</td> <td>4日間</td> </tr> <tr> <td>団体構成</td> <td>4人（選手1、関係者3）</td> </tr> <tr> <td>宿泊施設</td> <td>都ホテル 岐阜長良川</td> </tr> </table>	滞在日数	4日間	団体構成	4人（選手1、関係者3）	宿泊施設	都ホテル 岐阜長良川	 		
滞在日数	4日間									
団体構成	4人（選手1、関係者3）									
宿泊施設	都ホテル 岐阜長良川									

(4) 啓発事業

時期	内容	
2018/7/7	<p>日本夏祭りへの参加</p> <p>スロバキアにおいて、在スロバキア日本国大使館が主催する「日本夏祭り」に岐阜市ブースを出展。伝統工芸品の展示や鮎菓子等の試食、パンフレットの配布等を行い、市のPRを行った。</p>	

駐日スロバキア大使による講演会

期間	2018/5/12 (展示：5/8-14)	場所	みんなの森 ぎふメディアコスモス (講演会：ホール、展示：ギャラリー)
来場者	約 1100 人 (うち講演会：約 180 人)		



駐日スロバキア大使を講師に招き、スロバキアの歴史と文化をテーマとした講演会を開催。併せて、駐日スロバキア大使館提供の風景ポスターや伝統工芸品などを展示する「スロバキア展」を開催した。



講演会の様子



大使への記念品贈呈



スロバキア展の様子

ホストタウン交流フェスタ 2019

期間	2019/2/11	場所	みんなの森 ぎふメディアコスモス (ドキドキテラス)
来場者	約 150 人		



カク・ブル・ジョージ氏(在日コートジボワール人協会副会長)を講師に迎え、コートジボワールの文化や風習について市民に紹介する講演会を開催。併せて、同国とカナダの文化や自然を紹介する展示を実施した。



講演会の様子



文化紹介展示

スロバキアフェスティバル in Gifu 市民交流事業

期間	2019/3/3 (展示：2019/3/5-7)	場所	長良川国際会議場 (展示：みんなの森 ぎふメディアコスモス (ドキドキテラス))
来場者	約 300 人		



スロバキアの民族舞踊や伝統楽器「フヤラ」の演奏、伝統工芸品の展示、お菓子やワインの体験、パラリンピック選手との交流、合宿受入予定競技のボッチャの体験など、スロバキアの魅力を紹介する市民向けイベントを開催。併せて、スロバキア映画の上映、イラスト作品や風景ポスターのパネル展示など、スロバキアの文化を紹介する展示を行った。



民族舞踊の披露



ボッチャ体験



映画上映・展示


4 平成 31 / 令和元 (2019) 年度

初めてカナダの選手らと交流したほか、コートジボワールに担当者を派遣し関係者との協議を実施。また、大会に向けた機運醸成のため、相手国や受入競技について紹介するイベントを開催した。相手国との交流にあたっては、前年度末に設置した岐阜市ホストタウン交流推進会議やホストタウン相手国応援校等とともに、官民協働で実施した。



(1) ホストタウン登録申請

共生社会ホストタウン 相手国 スロバキア共和国、カナダ 登録日 2019年12月17日

(2) 相手国関係者との協議

時期	内容	
2019/4/2 -4/3	コートジボワールオリンピック委員会視察団の来訪 コートジボワールオリンピック委員会関係者 7 人が、初めて岐阜市を訪問。市長と懇談したほか、岐阜市体育ルーム等を視察した。併せて、関市を訪問し、市長懇談や競技場の視察等を実施した。	
2019/8/24	コートジボワールスポーツ大臣の来訪 コートジボワールスポーツ大臣が初めて岐阜市を訪問。市長と面談し、今後のホストタウン交流について意見交換を行ったほか、「ホストタウンウィーク 2019 コートジボワールデー」に参加し挨拶を述べた。	
2019/9/29 -10/8	コートジボワールへの担当者派遣 市の担当者が初めてコートジボワールの都市アビジャンを訪問し、スポーツ大臣や日本国大使等と面談。併せて、NPO 法人ぎふ・コートジボワールの活動の 1 つである靴の贈呈を視察するため、アティエグアクロを訪問した。	

(3) 合宿等の受入・交流

時期	内容	
2019/5/3 -5/9	カナダ陸上競技選手らの来訪 カナダオリンピック陸上競技選手らが、「IAAF 世界リレー 2019」(横浜市)に出場するため、岐阜県の受入により市内で初めて事前合宿を実施。西部小学校を訪問し、文化や競技の紹介を行ったほか、練習を見学に訪れた三輪中学校陸上部員と交流した。	 
	実施期間	7日間
	団体構成	31人(選手、コーチ等)
	練習会場	岐阜メモリアルセンター 長良川競技場
	宿泊施設	都ホテル 岐阜長良川

2019/6/8
-6/11

スロバキア卓球代表チームの事前合宿の受入

スロバキア卓球代表チームが、「ITTF ワールドツアー プラチナ・ジャパンオープン」(札幌市)に出場するため、初めて岐阜市を訪問し、事前合宿を実施。株式会社十六銀行、愛知工業大学、朝日大学の卓球部の協力を得て合同練習を行ったほか、練習を見学に訪れた青山中学校卓球部員と交流した。

実施期間	4日間
団体構成	6人(選手5、コーチ1)
練習会場	岐阜市もえぎの里多目的体育館
宿泊施設	ホテルリソル岐阜



2019/7/15
-7/22

カナダパラ陸上競技選手らの来訪

カナダパラリンピック陸上競技選手らが、岐阜メモリアルセンターで開催された「2019 ジャパンパラ陸上競技大会」に出場するため岐阜市を訪問。岐阜特別支援学校と島中学校を訪問して生徒らと交流したほか、大会当日、生徒らが会場で選手らを応援した。

実施期間	8日間
団体構成	3人(選手2、コーチ1)
練習会場	岐阜メモリアルセンター 長良川競技場
宿泊施設	都ホテル 岐阜長良川



2019/8/27
-9/3

スロバキア空手代表選手団の事前合宿の受入

スロバキア空手選手らが、「空手1プレミアリーグ 東京大会」の事前合宿のため来岐。西濃運輸空手道部及び中部学院大学空手道部との合同練習を行ったほか、鶺鴒観覧、「ホストタウンウィーク 2019 スロバキアデー」のトークショーへの出演、岐阜中央中学校の訪問などを通じて交流した。

実施期間	8日間
団体構成	5人(選手4、コーチ1)
練習会場	西濃運輸空手道部道場 ほか
宿泊施設	ホテルリソル岐阜



2019/9/29
-10/7

スロバキアパラリンピック選手団の事前合宿の受入

スロバキアパラリンピック(卓球、ボッチャ)選手らが、強化合宿のため来岐。県産食材を使用した夕食会で歓迎したほか、朝日大学卓球部・岐阜ボッチャ協会等との合同練習、パラ卓球日本代表との交流、鶺鴒・且格小学校の訪問、練習を見学に訪れた早田小学校の児童との交流などを行った。

実施期間	9日間
団体構成	16人(選手9、コーチ等6、通訳1)
練習会場	岐阜県福祉友愛アリーナ
宿泊施設	都ホテル 岐阜長良川



(4) 啓発事業

時期	内容	
2019/5-	応援メッセージフラッグの制作 ホストタウン相手国応援校が、担当競技への応援メッセージなどをデザインしたフラッグを制作。事前合宿の練習会場や校内等で掲示したほか、イベントでの展示やフラッグパレードでの披露等、様々な交流の場面で活用した。	
2019/7/6	日本夏祭りへの参加 昨年度に引き続き、在スロバキア日本国大使館が主催する「日本夏祭り」に岐阜市ブースを出展。伝統工芸品の展示や鮎菓子等の試食、パンフレットの配布等を行い市をPRした。	
2019/10/6	第63回「ぎふ信長まつり」応援フラッグパレードへの参加 応援校の児童生徒が、第63回「ぎふ信長まつり」ホストタウン相手国応援フラッグパレードに参加。制作したフラッグとのぼり旗を持ってパレードし、沿道の観客に披露した。	

岐阜市ホストタウンデー2019

期間	2019/7/28	場所	みんなの森 ぎふメディアコスモス (ドキドキテラス)
来場者	約300人		



東京2020オリンピックまであと1年の機会を捉え、啓発イベントを開催。開幕デカウントダウンボードの披露のほか、鬼頭明氏(2004年アテネ五輪卓球男子ダブルス出場)を講師に迎え、国内オリンピックの講演会を行った。併せて、相手国の文化や合宿予定競技等を紹介するパネル展示を実施した。



開幕デカウントダウンボードの除幕



講演会の様子



「ホストタウン」パネル展

コートジボワール料理教室

期間	2019/8/23	場所	市橋コミュニティセンター
参加者	19人		

コフィ・コフィ・ジェラー氏(コートジボワール人シェフ)を講師に迎え、コートジボワールの伝統料理「ケジェヌ」(鶏肉と野菜のシチュー)の料理教室を開催。講師の指導の下、参加者がケジェヌの調理と試食を行った。



調理の様子



伝統料理「ケジェヌ」

岐阜市ホストタウンウィーク 2019

期間	2019/8/24-9/1	場所	みんなの森 ぎふメディアコスモス (ドキドキテラス)
来場者	約 840 人		



東京2020パラリンピックまであと1年となる機会を捉え、大会に向けた機運醸成を目的としてイベントを開催。期間中の土曜日及び日曜日をイベントデーとし、ホストタウン相手国関係者による講演会や、相手国のお菓子等の試食を実施したほか、イベント期間を通じ、相手国の文化や歴史を紹介する展示を実施した。

開催にあたっては、岐阜大学地域科学部の学生が、企画運営及びパネル制作に参加した。

◆ 8/24 コートジボワールデー (来場者：約 200 人)

- ・ 駐日コートジボワール共和国大使館一等参事官による講演会
- ・ 食文化体験 (バナナ団子)



スポーツ大臣による挨拶



講演会の様子



食文化体験 (協力：JYI・JYI・JYI 氏)

◆ 8/25 カナダデー (来場者：約 270 人)

- ・ 在名古屋カナダ領事館領事による講演会
- ・ 食文化体験 (スクエアー)



講演会の様子



食文化体験 (協力：東海学院大学)



カナダ文化紹介展示

◆ 8/31 ジャパンデー (来場者：約 100 人)

- ・ パラリンピック開幕デイクウントダウンボード披露
- ・ 加藤啓太氏 (2012年ロンドンパラリンピックボッチャ代表) 講演会
- ・ ボッチャ体験教室



開幕デ「カントダウンボード」の除幕



講演会の様子



ボッチャ体験教室

◆ 9/1 スロバキアデー（来場者：約 270 人）

- ・空手家 若井敦子さんとスロバキア空手選手のトークショー
- ・食文化体験（オレホヴェー・ロシュキ（くるみの三日月形クッキー））



トークショーの様子



食文化体験（協力：松野アデラ氏）



スロバキア文化紹介展示

◆ 8/24-9/1 「ホストタウン」パネル展



相手国紹介パネルの展示



岐阜大学地域科学部による展示



展示の様子

岐阜市ホストタウンウィーク 2020

期間	2020/2/1-7	場所	みんなの森 ぎふメディアコスモス （ドキドキテラス）
来場者	約 300 人		



東京大会まであと半年となる機会を捉え、啓発イベントを開催。ホストタウン相手国への応援の機運醸成のため、事前合宿受入予定競技であるボッチャの大会を初めて開催するとともに、国内オリンピック・パラリンピアンによる講演会をトークショー形式で行った。また、応援校の児童生徒が制作した応援メッセージフラッグ及び相手国の文化等を紹介するパネルの展示を実施した。

◆ 2/1 みんなで！ボッチャ大会（来場者：約 100 人）

事前に募集した 16 チーム約 70 人によるトーナメント方式の大会を開催するとともに、参加自由のボッチャ体験を実施した。開催にあたっては、企画運営や参加記念品の提供について、東京海上日動（東京 2020 オフィシャルパートナー）及び十六銀行の協力を得た。



大会の様子



表彰式



ボッチャ体験

◆ 2/2 オリンピアン・パラリンピアン講演会 (来場者：約 100 人)

講師：小林 祐梨子氏 (2008 年北京オリンピック陸上女子 5000m 出場)
 花岡 伸和氏 (2012 年ロンドンパラリンピック等車いすマラソン出場)
 ※講演会終了後、岐阜県立岐阜農林高校の生徒によるカナダの紹介を実施。



講演会の様子①



講演会の様子②



岐阜農林高校によるカナダ紹介

◆ 2/2-7 ホストタウン相手国応援フラッグ展、「ホストタウン」パネル展 (来場者：約 100 人)



応援フラッグの展示①

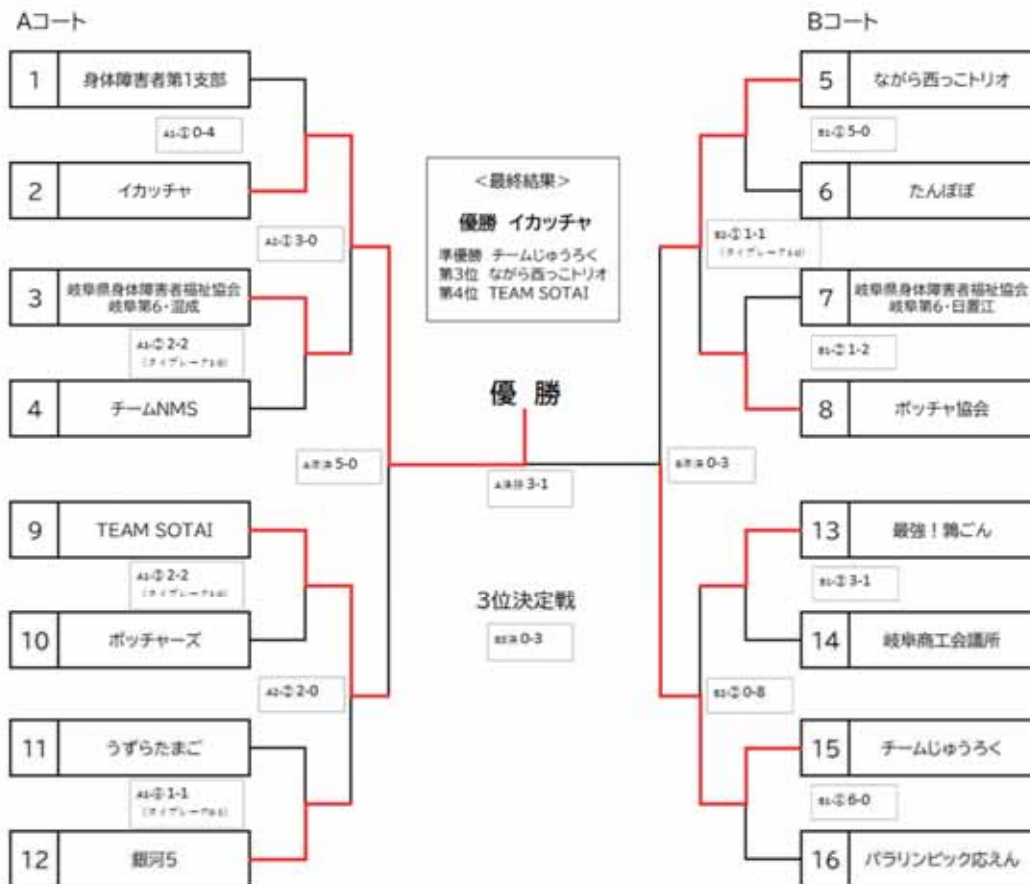


応援フラッグの展示②



パネル展示

「みんなで！ポッチャ大会」試合結果



新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、ホストタウン交流の実施にあたっては、感染拡大防止のため対面での交流や接触を伴うイベントを避け、国が発出した新型コロナウイルス感染防止ガイドライン等を踏まえて、オンライン交流や動画の送付など、非接触・非対面での交流を実施した。

(1) 相手国関係者との協議

時期	内容
2021/1	<p>事前合宿の実施に係る意向確認</p> <p>新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に伴い、事前合宿等の受入の際は、内閣官房が作成する手引きに沿って自治体がマニュアルを作成し、選手や関係者に遵守を求めるなど感染防止対策が厳格化されたため、岐阜市ホストタウン交流コーディネーターを通じ、相手国関係者及び競技団体に事前合宿の実施について意向確認を行った。</p>

(2) 合宿等の受入・交流

※2020年度は感染症の影響により受入なし

時期	内容	
2020/8-	<p>ホストタウン交流 project の開始</p> <p>岐阜県がカナダとの「ホストタウン交流 project」を立ち上げ、新たに開設した公式 SNS (Twitter、Facebook 及び Instagram) で、カナダに関する情報や応援動画などの配信を開始。また、カナダパラリンピック選手のトークショー (11/21) や「ゆるスポーツ」イベント (2021/1/30) 等のオンラインイベントや、応援校でのポスター・パネル展示 (2021/2) 等を実施した。</p>	
2020/11	<p>相手国からのメッセージ動画の送付</p> <p>内閣官房オリパラ事務局が開催する「ホストタウンシンポジウム」のため、スロバキアパラリンピック委員会からメッセージ動画の提供を受け、シンポジウム内で紹介するとともに、岐阜市公式 YouTube チャンネルで公開した。</p> <div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>第1弾：パラリンピックチームからのメッセージ https://youtu.be/lBfiFuj18LE</p> <p>第2弾：バルツォヴァー選手のメッセージ https://youtu.be/eRIYJ9kJpuI</p> </div> <p>また同シンポジウムのため、カナダの五輪パラ陸上競技選手から、岐阜県へメッセージ動画が送られた。</p>	 
2020/12-	<p>相手国への応援メッセージ動画の制作</p> <p>応援校や関係者から相手国への応援メッセージを発信する動画を制作。相手国の競技団体や駐日大使館に送付したほか、岐阜市公式 YouTube チャンネルで公開した。なお、スロバキアとコートジボワールは岐阜市が、カナダは岐阜県が「ホストタウン交流 project」の一環で制作した。</p>	

(3) 啓発事業

時期	内容	
2020/4/1	日本郵便「ホストタウン フレーム切手」事業への参加 東京 2020 オフィシャルパートナーの日本郵便株式会社が実施する「ホストタウン フレーム切手」事業に参加し、フレーム切手3種類を作成及び販売。完成を記念し、同社から市長へ切手の贈呈が行われた。	
2021/2/5 -2/7	聖火巡回展示でのパネル展示 聖火の巡回展示「繋ぐ希望の灯り展～東京 2020 オリンピック聖火がくる！～」(主管:市民スポーツ課)の、サブ企画として行われた「パネル展示」の中で、ホストタウン交流の様子を紹介するパネルの展示を実施した。	
2021/2/10 -2/23	岐阜市国際交流月間での展示 岐阜市国際交流月間に行われた「岐阜市国際交流展<第2弾>～岐阜市と世界のつながり～」(主管:国際課)の中で、ホストタウン登録の経緯や交流の様子、相手国の文化等を紹介する展示を実施。応援うちわやホストタウン事業通信等も配布した。	
2021/3/28 -3/31	聖火リレートーチ巡回展示でのパネル展示 聖火リレートーチの巡回展示(主管:市民スポーツ課)において、ホストタウン交流の様子を紹介するパネル及びオリンピック・パラリンピックの開幕デカウントダウンボードの展示を実施した。	

(4) 内閣官房の企画等への参加

時期	内容	
2020/11/26	ホストタウンシンポジウムへの参加 内閣官房オリパラ事務局が、「『with コロナ、after コロナ』におけるホストタウン交流の在り方について」をテーマに、岐阜県でオンラインシンポジウムを開催。県内のホストタウン自治体が交流に関する取組を発表し、本市はスロバキアについて紹介した。相手国からのビデオメッセージの上映や、関係者によるパネルディスカッション等も行われた。	 <p>シンポジウム アーカイブ 配信 (政府広報 オンライン)</p>




東京大会の開催にあたり、相手国の応援やこれまでの交流を振り返る取組を実施した。交流は、前年度に引き続き非接触・非対面を基本とし、対面の必要があるものは十分な感染防止対策を講じた上で実施した。カナダの事前合宿に関する交流については、岐阜県が内閣官房の手引きを基に作成したマニュアルに従い、県と連携して実施した。

(1) 相手国関係者との協議

時期	内容
2021/5	<p>コートジボワール選手団の事前合宿中止</p> <p>駐日コートジボワール大使から岐阜市長あてに、新型コロナウイルス感染症の状況や事前合宿の制限等を考慮し、選手団は東京大会の期間中にホストタウン自治体への訪問ができなくなった旨の手紙が接到し(4/28付、5/11收受)、本市での事前合宿は取りやめとなった。</p>
2021/6	<p>スロバキア選手団の事前合宿中止</p> <p>スロバキアパラリンピック委員会及び卓球連盟から、新型コロナウイルス感染症対策のための厳しい行動制限を考慮し、直接選手村に向かうため、東京大会では事前合宿を行わない方針であるとの連絡を受けた(パラ:6/8、卓球:6/10)。</p> <p>また、スロバキア空手連盟に対し、事前合宿の調整期間が十分に確保できないため、合宿の受入見合わせを申し入れ、了承を得た(6/8)。なお、空手は出場権獲得ならず。</p>

(2) 合宿等の受入・交流

時期	内容									
2021/7	<p>応援メッセージボードの制作</p> <p>スロバキアとコートジボワールの事前合宿が中止されたことを受け、両国の応援校が選手への応援メッセージボードを制作。直接の応援に代えて、駐日大使館を通じて選手団に贈呈した。</p>									
2021/7/18 -7/31	<p>カナダ陸上競技代表チーム事前合宿</p> <p>東京大会に出場するカナダ陸上競技代表チームが、岐阜県の受入により市内で事前合宿を実施。歓迎のため、カナダの応援校が応援ポスターやおもてなし動画等を制作し、宿舎に展示したほか、県を通じ、長良西小学校のビデオメッセージと共に、選手らに手作りの折り紙金メダルを贈呈した。また、児童生徒が公開練習の見学に訪れ、選手を応援した。</p>	 								
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>実施期間</td> <td>14日間</td> </tr> <tr> <td>団体構成</td> <td>約100人(選手、コーチ等)</td> </tr> <tr> <td>練習会場</td> <td>岐阜メモリアルセンター 長良川競技場</td> </tr> <tr> <td>宿泊施設</td> <td>都ホテル 岐阜長良川</td> </tr> </tbody> </table>	実施期間	14日間	団体構成	約100人(選手、コーチ等)	練習会場	岐阜メモリアルセンター 長良川競技場	宿泊施設	都ホテル 岐阜長良川	
実施期間	14日間									
団体構成	約100人(選手、コーチ等)									
練習会場	岐阜メモリアルセンター 長良川競技場									
宿泊施設	都ホテル 岐阜長良川									


時期	内容	
2021/7/23	駐日コートジボワール大使の来訪 駐日コートジボワール大使が、東京大会の競技日程や同国の注目選手を紹介するため、応援校の長良中学校を訪問。生徒から応援メッセージボード2枚を贈呈した。また大使は、岐阜市長及び関市長とそれぞれ面談した。	

2021/8/13
-8/28 **カナダパラ陸上競技代表チーム事前合宿**
 カナダパラ陸上競技代表チームが、岐阜県の受入により、市内で東京大会の事前合宿を実施。五輪に引き続き、宿舎の飾り付けや練習会場での応援メッセージフラッグの掲示、折り紙金メダルの贈呈などを行ったほか、選手村に出発する選手らに、岐阜特別支援学校が制作したのし袋を進呈した。

実施期間	16日間
団体構成	約40人(選手、コーチ等)
練習会場	岐阜メモリアルセンター 長良川競技場
宿泊施設	都ホテル 岐阜長良川



(3) 啓発事業

時期	内容	
2021/4/4	聖火リレーセレブレーション会場での出展 市内で聖火リレーが行われる際、セレブレーション会場の岐阜メモリアルセンターに観光コンベンション課と共同で岐阜市ブースを出展し、来場者にチラシや啓発グッズを配布した。	

2021/4/10 **長良川SA コートジボワール関連イベントへの協力**
 岐阜大学とNEXCO 中日本の共同授業を受ける学生らが、コロナ禍でも海外旅行気分を味わえるよう、高速道路を活用した企画「高速道路で海外旅行～コートジボワール編～」を長良川SA(関市内)で開催し、コートジボワールの文化等を紹介する展示や、コートジボワール料理の販売を実施。企画の実現にあたり、同国の関係者を紹介する等の協力を行った。



2021/7/12 **東京大会出場選手を紹介する展示でのパネル展示**
 -8/11 ※ 東京大会に出場する岐阜市ゆかりの出場選手のパネル展示(主管:市民スポーツ課)において、本市のこれまでのホストタウン交流を紹介するパネル展示を実施した。
 ※当初は9/3まで展示予定であったが、感染症の拡大により期間短縮。



ホストタウン交流写真展

期間	2021/7/19-26	場所	みんなの森 ぎふメディアコスモス (ドキドキテラス)
来場者	約 700 人		



東京大会の開幕に合わせ、本市と相手国とのこれまでのホストタウン交流を紹介する写真展を開催。応援校との交流や事前合宿の写真等のほか、東京大会の見どころを紹介するパネル展示や、開幕デイカウントダウンボードの設置を行った。併せて、東京 2020 公式アートポスターを展示した。



写真展の様子①



写真展の様子②



公式アートポスターの展示

(4) 内閣官房の企画等への参加

時期	内容	
2021/7-	<p>世界のおもてなし料理レガシープロジェクトへの参加</p> <p>地元の「GAP 食材」等を活用し、相手国へのおもてなし料理を開発する内閣官房の企画に、カナダを対象国として岐阜県及び東海学院大学栄養管理学科とともに参加。学生がメニューを開発し、レストランやキッチンカーで提供するにあたり、本市が広報等を行った。</p>	
2021/9	<p>応援メッセージ企画への参加</p> <p>内閣官房が実施する、選手や自治体等がメッセージを SNS に投稿し交流する応援サイト「みんなでつなげよう！ 応援の輪 #HostTownMessage」に参加し、相手国への感謝のメッセージを投稿。スロバキアパラ選手団と本市とのやりとりは、好事例として本企画の結果概要に掲載された。</p>	
2021/9/28	<p>ホストタウン自治体の表彰及び功労者への感謝状贈呈</p> <p>本市が、優秀なホストタウン交流を行った自治体として表彰されるとともに、ホストタウンの取組における功績が特に顕著であったとして、本市が推薦した 3 団体（ホストタウン相手国応援校、株式会社十六銀行、スコラーズ岐阜）がホストタウン功労者として感謝状を受け、内閣官房開催のオンライン贈呈式において、東京オリパラ担当大臣から表章状・感謝状が贈呈された。</p>	
2021/11/17	<p>ホストタウン功労者への感謝状贈呈式の開催</p> <p>東京オリパラ担当大臣からホストタウン功労者へ感謝状が贈られたことを受け、市で贈呈式を開催。応援校代表の岐阜特別支援学校、株式会社十六銀行、スコラーズ岐阜の代表者に、市長から感謝状を手渡した。</p>	

5 外部団体との連携

1 在外公館との連携

スロバキア共和国との交流について、在スロバキア日本国大使館と連携し、現地において、在外公館の幅広い人脈と発信力の高さを活用したプロモーション活動を行った。

(1) 「日本夏祭り」への出展 ※主管：商工観光部産業雇用課（現 経済部産業振興・企業誘致課）

大使館が日本文化の周知啓発のため開催している「日本夏祭り」に岐阜市ブースを出展し、岐阜提灯や岐阜和傘など伝統工芸品の展示や、鮎菓子等の特産品の試食や試飲など本市のプロモーションを行った。



時期	2018/7/7、2019/7/6
場所	旧市庁舎中庭ほか（ブラチスラバ市）
来場者	(2018年度) 約 2500 人 ※イベント (2019年度) 約 1300 人 全体

(2) 天皇誕生日祝賀レセプションへの出展

大使館が例年開催する「天皇誕生日祝賀レセプション」に岐阜市ブースを出展し、ホストタウン交流コーディネーターが参加者にノベルティやパンフレットを配布するなど、本市のPRを行った。



時期	2018/12/4、2020/1/10
場所	シェラトンホテル（ブラチスラバ市）
参加者	(2018年度) 257 人 (2019年度) 263 人

※2020年度・2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響によりいずれも開催中止

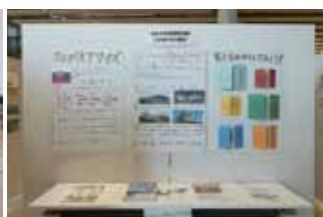
2 大学との連携

① 岐阜大学

岐阜大学のR元年度前期授業「地域学実習」（担当：橋本永貢子教授）を受講する地域科学部の3年生17人が、「ホストタウンウィーク2019」（2019/8/24-9/1）の企画運営に参加。打合せや展示物の制作、当日の運営などに携わったほか、来場者にアンケートを実施し、多文化共生への意識等について調査分析を行った。

ホストタウンウィーク2019に係る打合せ

日程	第1回 2019/6/5 第2回 2019/6/19 第3回 2019/6/26 第4回 2019/7/24
場所	みんなの森 ぎふメディアコスモス
参加者	学生が4~5人ずつ4班に分かれ、 各回1班ずつ参加。



ホストタウンウィーク2019 当日の様子

制作した展示物（相手国紹介パネル、フォトプロップス）

※学生は、開催期間中の土日のイベントデー（4回）に1班ずつ参加。

② 東海学院大学

主にカナダとの交流において、東海学院大学健康福祉学部管理栄養学科（学部長及び学科長：デュアー貴子教授）と連携し、同科の協力で「ホストタウンウィーク 2019 カナダデー」の食文化体験でカナダの菓子「スクエア」の提供を行ったほか、内閣官房「世界のおもてなし料理プロジェクト」（2020年度）及び「世界のおもてなし料理レガシープロジェクト」（2021年度）において、学生らがおもてなし料理の開発や、本市の啓発リーフレット・応援うちわの配布等を行った。



カナダデーへの協力



カナダ向けおもてなし料理の開発



キッチンカーでのうちわ配布

3 岐阜スロバキア友好協会との連携

岐阜スロバキア友好協会（設立：2019年8月）と連携し、来岐した空手代表選手団及びパラリンピック選手団との交流会や、応援メッセージ動画の制作を実施した。また協会独自に、スロバキアに関する講演会など、同国の周知啓発や人的交流の活性化に繋がる取組を実施した。



パラ選手団との交流会

4 企業との連携

ホストタウン交流の推進にあたり、民間企業の高い発信力やネームバリュー、技術、東京大会に関する知見等を生かして事業をより効果的に実施するため、以下の企業と連携した取組を行った。

① 株式会社モスフードサービス

全国で「モスバーガー」を展開する同社が、内閣官房オリパラ事務局の推進する「beyond2020 プログラム」の一環として、ホストタウン相手国の公用語を使用した多言語メニューの作成と情報発信への協力をしており、本市では3言語（英、仏、スロバキア語）のメニューを用意したほか、市内のモスバーガー6店舗でチラシの設置や開幕デイクラウドダウンボードの巡回設置を行った。また、来岐したスロバキア空手代表選手団及びパラリンピック選手団が、スロバキア語メニューを利用して食事を行った。



多言語メニューの作成



افتتاحボードの巡回設置



スロバキア空手選手団の来訪

② アサヒビール株式会社

東京 2020 ゴールドパートナーである同社との連携により、スロバキア及びコートジボワールの合宿受入予定競技をデザインした歓迎ポスターを作成し、選手や関係者が来訪した際に、歓迎会の会場に掲示するなど活用した。



③ 株式会社十六銀行 ※同社卓球部は「岐阜市ホストタウン交流推進会議」に参加

スロバキアの事前合宿誘致にあたり、同行、本市及びスロバキア卓球連盟の三者で「岐阜市ホストタウン交流事業に関する覚書」を締結したほか、「ホストタウンウィーク 2020」では、企画及びポッチャ大会の広報、参加記念品の提供、チームの出場、当日の運営など数多くの協力を得た。同行が東京海上日動及び岐阜県と共催した「ぎふホストタウン祭&観光・物産フェア in 名古屋」では、本市も後援及びパネル展示を行った。



覚書の締結

④ 東京海上日動火災保険株式会社

東京 2020 ゴールドパートナーである同社が、十六銀行及び岐阜県との共催で「ぎふホストタウン祭&観光・物産フェア in 名古屋」を開催し、本市も後援及び展示を行った。また「ホストタウンウィーク 2020」では企画段階から連携し、ポッチャ大会の広報や参加記念品の提供、当日の運営、ポッチャ体験コーナーの設置など様々な協力を得た。



ポッチャ体験コーナーの設置

⑤ 日本郵便株式会社

東京 2020 オフィシャルパートナーである同社の「ホストタウン相手国・地域へお手紙を送ろう！」事業に応援校 3 校が参加した。また本市が「ホストタウン フレーム切手」事業に参加し、相手国と本市の写真を使用したフレーム切手 3 種類を作成及び販売した。

フレーム切手詳細



スロバキア



カナダ



コートジボワール

シート構成

1シート 84円切手×5枚

店頭販売価格

1シート 920円 (税込)

販売開始日

2020/4/3～ (ネット販売: 4/5～)

サイズ

B5 (タテ 257mm×ヨコ 182mm)

販売枚数

各 500シート

販売局

(3か国すべて) 岐阜市、本巣市、瑞穂市、北方町の郵便局
(CIVのみ) 関市、山県市、美濃市、各務原市、郡上市の郵便局

※一部店舗除く。東京中央、大手町、名古屋中央、津中央、静岡中央の各局及び日本郵便ネットショップでも販売。

6 今後の交流方針

1 スロバキア共和国

取組の成果

- 大会期間中、応援メッセージボードが駐日スロバキア大使館に展示され、本市の取組が選手や記者等に広く周知された。
- パラスリートの受入や、パラスポーツの体験を通じ、共生社会への理解促進と、ボッチャ等のパラスポーツの普及啓発に寄与した。

方針① 文化紹介等の交流事業の継続

岐阜スロバキア友好協会と連携し、スロバキアの歴史や文化を紹介する展示や講演等を通じて同国への関心向上と理解促進を図るとともに、在外公館等と連携して現地で本市の 프로모ーションを行い、同国における本市の認知度向上や、文化の相互理解の促進に繋がる取組を継続する。

方針② 官民による相互交流の推進

日本語学科を有する国立コメニウス大学との交流や、パラスポーツを通じた交流の継続など、官民による相互交流を引き続き推進する。

2 カナダ

取組の成果

- 事前合宿の歓迎ポスターや折り紙金メダル等が選手らの SNS で紹介され、本市の取組が広く周知された。
- 選手らの学校訪問や公開練習の見学等を通じ、児童生徒が多様な文化に触れる機会が創出されるとともに、共生社会の理解促進に寄与した。

方針① 姉妹都市交流の推進

サンダーベイ市との姉妹都市交流を引き続き実施し、姉妹校や協定を締結している大学間を中心とした人的交流の推進や SNS を活用した相互理解の促進など、文化及び教育を重点分野とした包括的かつ互恵的な交流を推進する。

方針② 岐阜県が実施する交流への協力

岐阜県が行うカナダとの継続的なホストタウン交流において、市民交流や学校との連携について県を支援し、市民や児童生徒が同国の歴史や文化を学び、国際場裡に対応する能力を育成する機会を創出する。

3 コートジボワール共和国

取組の成果

- 大会直前の駐日大使の来訪や手紙のやり取りなど、駐日大使館との活発な交流が行われ、継続的な交流に向けた下地が形成された。
- 他団体がコートジボワール関連イベントを開催する等、ホストタウンの取組を通じた同国への関心の高まりが見られた。

方針① 市民交流の推進

使われなくなった運動靴をコートジボワールの子どもたちへ贈る活動を長年実施している NPO 法人ぎふ・コートジボワールなど、民間団体や市民による草の根交流を推進し、同国との交流を継続することで更なる友好関係の強化を図る。

方針② 文化紹介等の交流事業の継続

本市におけるコートジボワールへの関心向上や理解促進を図るため、同国の歴史や文化を紹介する展示や講演等を引き続き実施し、草の根交流への関心を高めることで、民間交流の活発化に繋げるとともに、今後の発展的な交流への礎を築く。

7 寄稿 ～ホストタウン相手国との交流に寄せて～

1 スロバキア共和国との交流

岐阜スロバキア友好協会 会長 富田 栄一

2016年12月、岐阜市のホストタウン第1号としてスロバキアが登録され、翌年、岐阜市代表団が初めてスロバキアの首都ブラチスラバを訪問し、ホストタウン交流を通じた両市交流の第一歩を踏み出しました。

その後、ホストタウン事業を一過性のものとせず、大会後も引き続き交流を深めていこうと、訪問団として訪欧した民間人が発起人となり、「岐阜スロバキア友好協会」を設立しようとする動きが出てきました。オール岐阜の体制で様々な分野において市民レベルで継続的な取組みを行うことを目的に準備を進め、2019年8月に設立総会・第1回総会を開催し、岐阜スロバキア友好協会が発足しました。当日は、スロバキア空手代表チームの歓迎夕食会が開かれ、役員が選手を激励しました。

2019年10月には、事前合宿中のパラリンピック選手との交流会を開催し、合唱と琴の演奏で歓迎しました。その後は、COVID-19の世界的流行により、東京大会は1年延期となりスロバキア選手との交流はできませんでした。2021年2月には、スロバキアとオンラインで結び、スロバキア在住の日本人に講演をしていただき、スロバキアの魅力について知識を深めました。

オリンピックの開催を間近に控えた2021年6月、岐阜市での事前合宿を中止するというニュースが飛び込んできました。大変残念ですが、感染リスクを考えれば致し方ありません。そんな時、会員からの提案により、スロバキア選手団を応援する動画を制作することになりました。リラックスして大会に臨んでもらおうとするものです。動画は大使館を通じて選手に届けられましたが、顔なじみの選手がメダルを獲得したことは、私たちの願いが届いたものと信じております。

東京大会は無事終わりましたが、ホストタウンをきっかけに始まったスロバキアとの交流は、岐阜スロバキア友好協会として今後も続けて行く所存です。

2 カナダとの交流

岐阜市立茜部小学校 校長 田中 丈晴

ホストタウン交流を通じて、児童が多様な文化に触れる機会を得ました。残念ながら、選手をお迎えし、実際に走る姿を見せていただいたり走り方のワンポイントアドバイスをいただいたりするような交流は実現しませんでした。カナダ陸上競技連盟の広報の方が行った文化紹介により、馴染みのなかったカナダについて、関心をもつことができたことには感謝しています。

カナダ陸上チームへの応援の取組として、今年度は動画による応援メッセージと、折り紙による金メダルを作成しました。応援メッセージは、岐阜のことを知ってもらい、美味しいものを食べて頑張ってもらいたいというメッセージを英語で精いっぱい伝えました。

動画作成では緊張感がありましたが、メダル作成も含めて楽しく活動できました。児童にとって、あまり印象のなかったカナダではありましたが、国土の広さが世界2位であることや、国旗に描かれているのがメイプルリーフであることなど、少しずつ関心をもつようになりました。

Welcome to Gifu city.
We are Akanabe elementary school students. There is a famous castle in Gifu city. There are a lot of delicious foods. For example, "Hida beef" "Ayu" "Takayama Ramen".
Please eat some food in Gifu, and energize yourself!
Please win the gold medal at the Olympics!
Good luck!

NPO 法人ぎふ・コートジボワールがコートジボワールとのご縁を結んだのは、2008年4月に、岐阜在住の在日コートジボワール人カク・ブル・ジョージ氏が、コートジボワール市長連合から「日本の議員をコートジボワールに招聘する」との依頼を受け、私をコートジボワールに同行させたことから始まりました。

私は、現地でのイベント参加の後、現地の子どもたちと交流したいと願い出て、その子どもたちの生の姿に触れることができました。裸足でボールを蹴って遊んでいる子どもたちの姿を、至る所で目にしました。決して物に恵まれているわけではなくても、仲間と逞しく生き抜いていくバイタリティーを感じました。

日本に戻り、NPO 法人を立ち上げて寄付いただいた靴を送る活動を始め、今までに市内の小学校、中学校、高校を中心に集めていただいた靴を、計10回74,300足送り、現在に至っています。

私たち NPO 法人の活動が大きな原点となり、オリンピックのホストタウンにも登録され、両国の交流に花咲いたとの願いも虚しく、コロナ禍の現状に市民交流のほとんどが実現できませんでした。予定どおりホストタウンが実施されていたら…と、とても残念ですが、長良中学校がホストタウン相手国応援校として応援フラッグ製作等に取り組んでくださり、2021年7月13日には、来岐された駐日コートジボワール大使に応援メッセージボードを直接手渡していただきました。大使に学校を訪問していただいたことは、子どもたちの思い出として、また学校の歴史として刻まれることでしょう。

NPO 法人の靴を送る活動は、今後も継続していきます。岐阜市とコートジボワールの交流も、これからも何らかの形で継続していくことを熱望します。



東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会
岐阜市ホストタウン交流推進事業
実施報告書

令和4（2022）年3月

発行 岐阜市

編集 ぎふ魅力づくり推進部国際課

〒500-8701 岐阜市司町 40 番地 1

TEL: 058-214-6125（直通）

FAX: 058-214-2224

E-mail: world@city.gifu.gifu.jp